

# Apple の iDevice および OSX のマシンに ISE または WLC のリダイレクト ページが表示されない問題の解決方法

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料にその Cisco ワイヤレス LAN コントローラ ( WLC ) に機能を追加する方法をバイパス iDevices および OS X マシンの Apple 捕虜 Network Assistant ( チャンネル利用不可 ) 記述されています。この機能は出ないリダイレクト ページの問題を解決します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco WLC
- Apple チャンネル利用不可

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- バージョン 7.1 または それ 以上の Apple iDevices および Apple OS X マシン
- Cisco WLC、バージョン 7.2.110.0 またはより高く

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメン

トで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

Apple iDevice（iPad、iPod、または iPhone のような）または Apple OS X マシンは無線ネットワークに（バージョン 7.1 または それ 以上で）接続するとき、アップルのウェブサイトの成功ページに要求を送信します。

- 成功ページが戻る場合、デバイスは仮定しますネットワーク接続があり、処置がとられないことを。
- 成功ページが戻らない場合、捕虜 Network Assistant（チャンネル利用不可）と呼ばれる Apple 機能は仮定します捕虜ポータルがあることを。チャンネル利用不可はそれから捕虜ポータルからのログイン ページを持つユーザをプロンプト表示するためにブラウザを起動させます。チャンネル利用不可ブラウザは機能で制限され、無線ネットワークから、閉じられたとき、デバイスを切り離します。

## 問題

ユーザは Cisco WLC を通って接続されたとき設定された捕虜門脈ページを見ません。その代り、ユーザはアップルのウェブサイトからのこの白ページを見ます:

捕虜ポータルは WLC または Cisco Identity Services Engine（ISE）のような外部サーバでホストすることができます。チャンネル利用不可ブラウザの限られた機能が原因で、ページの内容は表示することができないし白ページは代りに示されています。白ページが表示され、チャンネル利用不可ブラウザが閉じるとき、無線ネットワークおよびユーザからのデバイス切断は完全なブラウザ ページおよびログインを開くことができません。

## 解決策

Cisco WLC のバージョン 7.2.110.0 はかより高い Apple デバイスのチャンネル利用不可機能をバイパスする機能があります。この機能は Command Line Interface（CLI）だけで利用できます。

```
config network web-auth captive-bypass enable
```

実施されるためにこの機能のためのコントローラをリブートして下さい。次に無線ネットワークにデバイスログは、ユーザ手動で捕虜ポータルにリダイレクトされるべき browser を開く必要があります。

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)